

ちばの次世代農業経営育成事業

6月補正予算額 20,000千円
(H28当初 10,000千円)

1 事業の目的・概要

本県農業の発展のため、法人化の啓発、経営発展に向けた事業計画の策定支援、法人設立後の経営に対応できる経営者能力の向上支援など、動機づけから経営改善や人材力の強化まで段階に応じた各種支援を実施します。

2 事業内容

(1) 法人化促進啓発事業 600千円

法人化に対する理解を促進するとともに、経営管理技術や雇用管理能力を高め、法人化への誘導を図るため、各地域単位で専門家による研修会を実施します。

(2) アグリトップランナー経営力強化事業 7,970千円

経営発展に向け専門家の派遣を希望するアグリトップランナー（農業経営体）に、農業経営アドバイザーを派遣し、事業の具体化に向けたアドバイスや支援を行い、法人化の推進、収益の向上や円滑な事業継承を図ります。

(3) 農業経営法人化等支援 4,000千円

地域の中心となる農業法人・集落営農の育成を促し、農業の体質強化を図るため、集落営農の組織化及び法人化の取組等について支援を行います。

[事業主体] 市町村

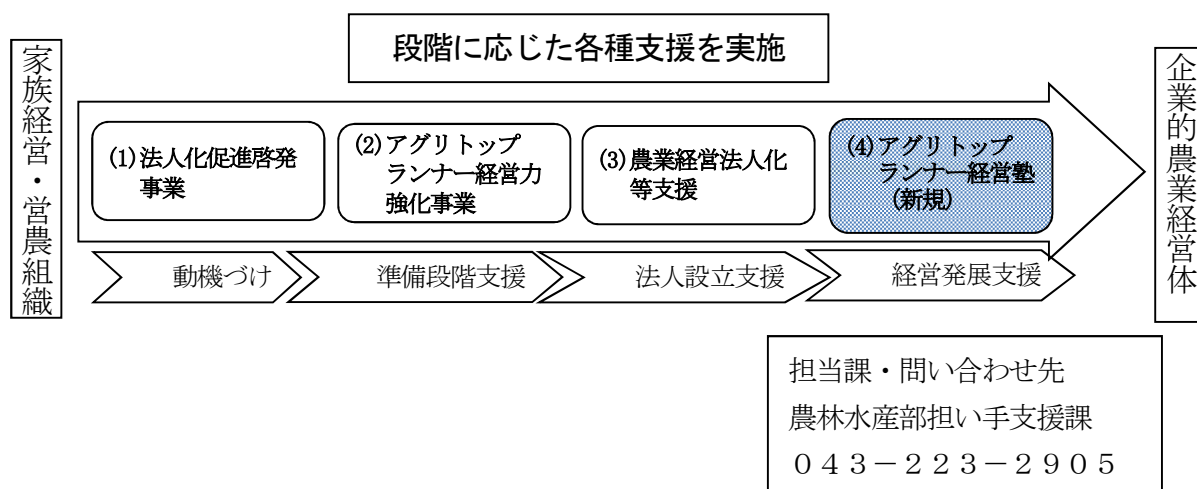
[補助率] 定額（法人化に必要な経費（登記手続等）の実費を助成）

(4) (仮称) ちばアグリトップランナー経営塾 7,000千円

青年農業者等を対象に、これからの企業的農業経営に必要となる、会計論、組織論、リーダーシップ論やビジネスフレームワークを学ぶとともに、トップクラスの経営者から経営ノウハウを学べるセミナーを開催し、県の次代を担う農業経営者を育成します。

(5) 法人推進体制の整備 430千円

農業の法人化を促進するため、農業団体の他、経営指導の専門家や金融機関等のノウハウを活用する推進体制を整備するとともに、専門家に対して農業経営に関する専門知識の研修を開催します。



農林総合研究センター再編整備事業

債務負担行為 3,152,000千円
(H28当初 69,859千円)

1 事業の目的・概要

施設が分散し、かつ老朽化が著しい農林総合研究センターについて、新品種の開発や新たな栽培技術等の確立などの機能強化に向けた効率的な研究体制を整備するため、分散する施設を集約して建替えます。

[農林総合研究センター機能強化の方向性]

- 1 千葉ブランドとなる新品種の迅速な育成・普及
育種、栽培、販売まで一貫した体制により、千葉ブランド品種の開発体制を強化する
- 2 規模拡大と高付加価値化に向けた研究の推進
経営規模拡大による低コスト化や高付加価値化を実現するための栽培技術を確立する
- 3 環境変化に対応し、生産を下支えする研究の強化
温暖化による病害虫や、野生鳥獣の被害を防ぐ防御技術を開発する
- 4 効率的・効果的な研究体制の構築
部門間の横断的研究の強化を図るとともに、生産者との連携体制を構築する

2 事業内容

新本館建築工事	3,114,519千円
工事監理等業務委託	36,504千円

3 施設整備計画等

- (1) 整備箇所
本場敷地内(旧芝草ほ場)
- (2) 整備概要
分散する10施設を2階建て1棟に集約して建替え
- (3) 今後のスケジュール
平成29年度～ 建築工事
平成31年度 供用(予定)

<現在の農林総合研究センター(本場)>

所在地：千葉市緑区大膳野町
供用開始：昭和38年
建物数 10棟(S38～S62年建築)
敷地面積：31.8ha
延床面積：8,845㎡
ほ場 18.3ha
農業用ハウス 95棟 10,251㎡



農林総合研究センター新本館 完成予定図

担当課・問い合わせ先
農林水産部担い手支援課
043-223-2907

野生鳥獣総合対策事業

6月補正予算額 29,800千円
 (当初予算とあわせ 358,500千円)
 (H28当初 325,703千円)

1 事業の目的・概要

有害鳥獣による農業被害等を防止するため、市町村が実施する捕獲事業への助成を行います。

また、ニホンザルの適正な管理のため、群れの一斉調査を実施します。

平成27年度主な獣類の農業被害金額 (県内) (千円)

加害鳥獣	イノシシ	ハクビシン	サル(※)	アライグマ	シカ	キョン
被害額	210,287	49,223	16,591	10,571	11,205	944

※ニホンザル及びアカゲザル等による被害

平成27年度主な獣類の捕獲頭数 (頭)

加害鳥獣	イノシシ	ハクビシン	ニホンザル	アライグマ	シカ	キョン
捕獲頭数	22,574	2,339	878	2,959	4,465	2,187

2 事業内容

○野生獣管理事業補助金 20,340千円 (当初予算とあわせ 135,230千円)
[Ⓓ 114,390千円]

・市町村の捕獲活動をさらに促進するため、捕獲事業に対する助成を行います。

[補助対象] 市町村

[補助率] 市町村事業費の1/2以内

[助成対象獣] ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、キョン、ハクビシン、アライグマ

○野生獣の生息状況調査の実施 9,460千円 (当初予算とあわせ 33,870千円)
[Ⓓ 11,422千円]

・ニホンザルの群れの一斉調査を実施することにより、県内に生息する群れの生息域などを把握し、適正な管理を行います。

担当課・問い合わせ先
 環境生活部自然保護課 043-223-2058

「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業

6月補正予算額 6,000千円
(当初予算とあわせ 41,250千円)
(H28当初 36,400千円)

1 事業の目的・概要

成長著しいアジア圏などへの輸出の促進を通じ、県産農林水産物の販路を拡大するため、海外において知事のトップセールスを通じたPRを行うとともに、輸出に取り組む生産者・団体への支援を進め、県産農林水産物の輸出環境の強化を図ります。

2 事業内容

(1) 県産農林水産物の海外PR 2,000千円

農林水産物の輸出拡大・定着を図るため、海外の小売店で千葉フェアを開催するとともに、輸出に関与するバイヤーなどの実需者との面会の場を設け、知事のトップセールスを通じ、消費者や実需者へ積極的なPRを行います。

(2) 輸出に取り組む生産者団体への助成 4,000千円

開拓・定着した輸出の販路の拡大・安定化を進めるために、輸出に必要な施設・機械等の導入・改修を通じた輸出環境の整備を行う生産者団体等を支援します。

※従来ソフト事業を対象としていましたが、新規にハード事業を対象とします。

[実施主体] 市町村、農協、漁協、営農組織等

[補助率] 1/2以内

[対象事業] 輸出向け生産・出荷調整設備、検疫対策防除・出荷調整設備等



平成27年度の知事トップセールスの様子



輸出向け梨の鮮度保持処理の様子

担当課・問い合わせ先
農林水産部流通販売課
043-223-3086

ちば・いちご産地活性化事業

(地方創生推進交付金事業)

6月補正予算額 8,000 千円

(H28.9 補正 8,000 千円)

1 事業の目的・概要

千葉県のいちご狩り園に多くの観光客を誘致し、地域活性化を図るため、新品種「チーバベリー」のデビューを契機とした、情報発信や観光事業者等と連携したイベントを実施します。

また、いちご狩り園における外国人観光客の受入体制を強化するため、研修会等を実施します。

2 事業内容

(1) ホテル・飲食店等と連携したフェアの開催 3,055 千円

ホテル・飲食店等と連携し、県産いちごを使用した新しいスイーツメニューを開発し、フェアを開催します。

(2) 外国人観光客受入れ環境の整備 4,645 千円

生産者を対象とした研修会の実施や、外国語パンフレットを作成します。

(3) 地域イベント等との連携によるPR 300 千円

首都圏及び県内地域イベントに参加しPRを実施します。



いちご新品種「チーバベリー」
(大粒で、甘みに加え程よい酸味が特徴)



「チーバベリー」の専用ロゴマーク

担当課・問い合わせ先
農林水産部流通販売課
043-223-2963

新品種落花生生産産地支援事業【新規】

(地方創生推進交付金事業)

6月補正予算額 6,700千円

1 事業の目的・概要

千葉県育成の落花生新品種「千葉 P114 号」の平成 30 年のデビューを契機に、新品種の P R や新品種を活用した商品開発を行うとともに、種子生産への省力化機械の導入を進めて種子の安定確保を図り、良品質落花生の生産拡大を支援します。

2 事業内容

(1) 新品種の愛称公募と県産落花生の P R 1,140 千円

新品種のデビューに向けた愛称の公募に併せ、リーフレットの配布や応募者プレゼントの実施等により県産落花生を P R します。

(2) 新品種を活用した商品開発 4,500 千円

新品種を活用した商品を開発するとともに、パッケージングデザインの検討やテストマーケティングを実施します。

(3) 新品種の種子生産への省力化機械の導入実証 960 千円

落花生新品種の種子生産について、一般栽培用に開発された省力化機械を用いて、採種栽培のモデルとして現地実証試験を行います。

(4) 新品種推進部会の設置 100 千円

(一社) 千葉県落花生協会内に、新品種の推進等に係る部会を設置します。



落花生新品種「千葉 P114 号」



落花生収穫機 (掘上げ反転機)

担当課・問い合わせ先
農林水産部生産振興課
043-223-2887
農林水産部流通販売課
043-223-3085

果樹（びわ・かんきつ）園を活用した地域活性化事業【新規】

（地方創生推進交付金事業）

6月補正予算額 8,600千円

1 事業の目的・概要

安房地域を代表する果樹である「びわ」・「かんきつ」の産地活性化のため、地域の生産者や関係者が一体となり、果樹再生協議会を立ち上げ、今後の振興方針を策定します。

また、最新の栽培技術の導入により、従来の急傾斜地での栽培から、平地での栽培を実現するモデルフルーツ園を設置し、労力削減、収穫期間の拡大及び観光に適した栽培を実証するとともに、本県のフルーツ園に多くの観光客を誘致するため、新たな体験メニューの開発や充実化に取り組みます。

2 事業内容

（1）果樹（びわ・かんきつ）再生協議会の設立・運営 3,600千円

生産者組織、JA、関係市町、千葉県等で構成するびわ・かんきつ再生協議会を設立し、産地再生のための振興方針を策定します。

【主な活動】 生産者への聞き取り調査、先進地視察、研修会の開催 等

（2）モデルフルーツ園の開設 4,000千円

実証モデル園を開設するためのパイプハウス等の導入に対し助成します。

補助率 1/4以内

（3）フルーツ狩り体験メニューの検討・実証 1,000千円

大学等と協同で観光客に魅力的な体験メニューを検討し、実証します。



施設で栽培されるびわ



施設内で実った果実

担当課・問い合わせ先
農林水産部生産振興課
043-223-2872
農林水産部流通販売課
043-223-2961

県産水産物加工・流通・輸出拠点施設整備事業【新規】

6月補正予算額 30,360千円

1 事業の目的・概要

漁業者の収益の向上や水産加工品の輸出拡大を図るため、消費者ニーズにあった商品開発や輸出にも対応した衛生管理を行う加工施設の整備に係る経費を助成します。

2 事業内容

千葉県漁業協同組合連合会が実施する施設整備に対し、国庫補助事業「防衛施設周辺民生安定施設整備事業」を活用して助成します。

実施主体：千葉県漁業協同組合連合会

設置場所：銚子漁港

事業費：39,600千円（実施設計）

補助率：国2/3以内、県1/10以内

3 事業スケジュール等

平成29年度	実施設計
--------	------

平成30年度～32年度	建築工事
-------------	------

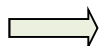
平成32年度	供用
--------	----

現在の加工施設（S51年築）



構造：鉄筋コンクリート3階建
延床面積3,421㎡
魚種：イワシ、サバ等

内容：切身（一次加工）、
粉付け（二次加工）、
冷凍販売等



新加工施設の特徴

構造：鉄骨造2階建
延床面積2,913㎡
魚種：イワシ、サバ、ブリ類、ハマグリ、シイラ、低未利用魚（ホシザメ）等

内容：切身（一次加工）、
粉付け（二次加工）、
冷凍販売、
高度加工（加熱（三次加工））等

特徴：輸出にも対応した衛生管理を導入

担当課・問い合わせ先
農林水産部水産局水産課
043-223-3045



北千葉道路印旛沼渡河橋（印西市）

道路ネットワーク事業

6月補正予算額 19,261,546千円

（当初予算とあわせ 59,708,997千円）

（H28当初 60,608,474千円）

[当初予算・前年度経済対策補正とあわせ 66,126,119千円]

[H28同 61,158,474千円]

（債務負担行為 1,222,000千円）

1 事業の目的・概要

県民生活の利便性向上を図り、道路交通の安全・安心を確保するとともに、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備を進めます。

2 主な事業内容

(1) 北千葉道路整備事業（補助事業） 1,685,000千円

印西市～成田市間：Ⅱ期区間（成田市押畑～成田市大山）の早期供用を目指し、橋梁工事等を進めます。

(2) 圏央道インターチェンジへのアクセス強化事業（補助事業） 541,000千円

圏央道へのアクセス道路の整備を進めます。

・国道410号久留里馬来田バイパス [木更津東IC]

・国道409号茂原一宮道路（長生グリーンライン） [茂原長南IC] ほかに1路線

(3) 外環道インターチェンジへのアクセス強化事業（補助事業） 170,000千円

外環道へのアクセス道路の整備を進めます。

・国道14号市川拡幅

(4) 街路整備事業（補助・単独） 4,708,455千円

都市における交通の円滑化や安全確保のため、鉄道との立体交差や道路拡幅などを進めます。

（主なもの）

・新京成線連続立体交差事業（鎌ヶ谷市） 1,525,363千円

・東武野田線連続立体交差事業（野田市） 1,288,832千円

・藤崎茜浜線（習志野市） 1,271,000千円

(5) 交通安全施設整備事業（補助・単独） 1,890,245千円

安全で円滑な道路交通を確保し、歩行者等を交通事故から守るため、歩道整備・交差点改良を実施します。



国道409号茂原一宮道路（長生グリーンライン）



新京成線連続立体交差事業

担当課・問い合わせ先

県土整備部道路整備課 043-223-3171

県土整備部道路環境課 043-223-3146

県土整備部道路計画課 043-223-3287

千葉港千葉中央埠頭の機能強化事業【新規】

6月補正予算額 279,000千円

[特別会計港湾整備事業]

1 事業の目的・概要

千葉港千葉中央埠頭のコンテナターミナルには、2基のガントリークレーンが整備されていますが、そのうち1号機について、耐用年数（17年）を超えて22年間使用し老朽化が著しいことから更新を行います。また、一時的に貨物を保管する野積場を拡張整備します。

2 事業内容

(1) ガントリークレーン1号機整備事業【新規】 50,000千円

千葉港中央埠頭のガントリークレーン1号機について、平成32年度中の完了を目指して、更新を行います。平成29年度は、基礎調査及び詳細設計を実施します。

【ガントリークレーン】



(2) 野積場拡張整備事業【新規】 229,000千円

完成自動車取扱量の増加に対応するため、一時保管のための野積場の拡張整備を行います。

【上記のほか、一般会計分】

○千葉みなと緑地整備事業

162,000千円(当初予算とあわせ 294,000千円)
(H28当初 430,000千円)
(債務負担行為 138,000千円)

にぎわいのある親水空間創出のため、JR京葉線千葉みなと駅の海側に、遊覧船等が係留できる浮棧橋を設置します。1基目は平成28年にオープンしていますが、2基目について、平成30年度中の供用開始を目指して、製作据え付けを行います。

【浮棧橋（1基目 平成28年オープン）】



【2基目 設置予定地】



担当課・問い合わせ先

県土整備部港湾課 043-223-3845

公営住宅建設事業

6月補正予算額 818,680千円
(当初予算とあわせ 2,106,564千円)
(H28当初 2,069,765千円)

1 事業の目的・概要

住宅に困窮する低所得者向けに、低廉な家賃で良質な住宅を供給するとともに、既存住宅のバリアフリー化など高齢者等に配慮した住宅の整備・改修を計画的に進めます。

2 主な事業内容

(1) 改善等事業 725,551千円 (当初予算とあわせ 1,784,772千円)

県営住宅の居住性、耐久性、安全性等の機能向上を図るため、外壁や給水設備の改修等を実施します。

(2) 佐津間県営住宅整備事業[新規] 13,840千円

県営住宅長寿命化計画に基づき、佐津間県営住宅(鎌ヶ谷市)の基本設計に着手します。

・佐津間県営住宅(第1期) 鉄筋コンクリート造3階建 総戸数30戸

[参考]

外壁改修(外壁の塗り替え、外壁の剥離予防措置等)



<改修工事の様子>



<改修後>

給水設備の改修(受水槽・高置水槽方式から直結増圧方式に変更等)



<改修前>



<改修後>

担当課・問い合わせ先

県土整備部都市整備局住宅課

043-223-3224